

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ロングサポートLa・Nature				公表日		2024年12月28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	2		適切な配置になるように努めていく。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	2	特別部屋を用意はしていないが仕切り等で場所を個別化することもある	視覚はさえぎることができるが、音に過敏な場合の対策が不十分な為、検討が必要である。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)について、全職員一緒に参画は難しいが、同職種間での取り組みができています。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	自己評価を通して改善対策を実施している				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	頻繁に意見交換などが設けられ、業務改善に繋がられている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	0					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	定期的に研修が開催されている。				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	1		個別支援計画のことを周知していく。現在個別支援計画は個別ファイルに添付し、スタッフが常に確認できるようにしているが、周知していく。また、職種間の情報交換ができるように、職種ごとの記録もさらに活用できるよう工夫していく。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1		職種間の情報共有が足りていないこともあるため、職種間の情報交換ができるように、記録をさらに活用できるよう工夫していく。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1		現在個別支援計画は個別ファイルに添付し、スタッフが常に確認できるように周知していく。また、職種間の情報交換ができるように、職種ごとの記録もさらに活用できるよう工夫していく。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0					

の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1		引き続き、活動プログラムに様々な工夫をして、子どもたちの発達支援に活かしていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	1		個別支援計画書を周知する。計画書にも記載しているとおり、個別活動と集団活動の組み合わせを実施している。日々の活動プログラムにも個別活動と集団活動の場面設定をしているが、職員全員が周知できるよう工夫していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	1		朝は送迎で時間がとれないため前日に確認し情報を共有している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0		日々の支援における気づきを記録し、その後の支援の改善に繋げられている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	3		必要に応じて、入学前に情報共有等を行っているが、今後は共通した書面等の報告ができるよう、体制を整えていきたい。また、関係者会議等を通して支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	3		関係者会議等を通して、連携や助言を受ける機会がある。今後とも連携を図っていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	7		なかなか交流が進んでいないが、少しずつ機会を増やしていきたいと思っている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	1		送迎時に保護者と顔を合わせコミュニケーションをとることで、共通理解を持っている。日頃から密に連絡を取り合い、常に情報を共有していきたいと思っている。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	3		現在は個別に助言等を行っているが、参観日等を設け、より具体的に家族支援につなげていきたい。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		契約時に説明している。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1		今年度より「親の会」が設立されたので、事業所としては全面的に活動を支援し、保護者間の連携につなげていきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	機関紙「からんころん」の発行、ほけんだより、SNSの発信など、積極的におこなっている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5		地域住民を招待して等の行事開催はできていないが、地域に開かれた事業運営につながる策を講じていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	3		定期的に訓練を行えるようにしたい。また、散歩などで避難経路の確認もしていきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	2	災害時を想定して避難経路の確認など訓練が行えている。	最低年1回の訓練が義務付けになったが、職員への周知が不十分だったと思われる。今後は周知徹底するようにしていきたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	職員同士で服薬の確認や緊急時の対応など確認し合っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	ヒヤリハット事案をスタッフ間で共有している。必要であれば話し合いの機会を設けている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	毎年虐待を防止するための研修が開催されている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	0		